

令和8年10月15日

保護者の皆様

札幌市立北野小学校

校長 二又 利行

「令和8年度全国学力・学習状況調査結果の 分析及び説明について」のお知らせ

秋冷の候、保護者の皆様におかれましてはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして温かい御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、6年生を対象に、4月23日（木）に行われた令和8年度全国学力・学習状況調査につきまして、本校の結果についてお知らせいたします。今回の結果を、学校全体の課題として捉え、今後の指導に生かしてまいります。

なお、本調査により把握できるのは、学力全般の一部であり、学校の教育活動の一側面であることを御理解ください。今後も、学校と家庭がより連携を深めながら、子どもたちの健全な成長を支えていくことができるよう、御理解と御協力をお願いいたします。

「結果の分析」の表記について

本校の平均正答率と全国平均を比較し、

+ 3.1 ポイント以上 → **全国平均を上回っている。（記号△）**

+ 3.0 ポイントの範囲内で全国平均を上回る
→ **全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
（記号◇）**

全国平均と同じ → **全国平均とほぼ同程度である。（記号□）**

- 3.0 ポイントの範囲内で全国平均を下回る
→ **全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
（記号◆）**

- 3.1 ポイント以下 → **全国平均を下回っている。（記号▼）**

と表しています。

本校の概要（内容・領域）

今回の調査における課題

改善の方向

国
語

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「情報の扱い方に関する事項」

▼全国平均を下回っている。

「話すこと・聞くこと」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「書くこと」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「読むこと」

△全国平均を上回っている。

●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。

●比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。

●考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解すること。

●相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。

●引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。



○漢字に親しみ、正しい言葉遣いや漢字のもつ意味を考えて、文の中で正しく使う学習活動の充実。

○実際に話したり聞いたりする中で触れてきた、比喩や反復、倒置などの表現の工夫についてまとめて整理する学習活動の充実。

○自分の考えの根拠を明確にし、それを支える情報と情報との関係を整理し、まとめる学習活動の充実。

○相手意識を高め、自分が伝えたいことが明確になるように理由や事例を挙げ、筋道を立てた構成を検討する学習活動の充実。

○引用する目的を明確にし、正確に引用したり、引用部分と自分の考えとの関係を明確にして、区別しながら書き表したりする学習活動の充実。

算
数

「数と計算」

□全国平均とほぼ同程度である。

「図形」

▼全国平均を下回っている。

「測定」

△全国平均を上回っている。

「変化と関係」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「データの活用」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

●異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できる。

●数を四捨五入して、概数で表すことができる。

●立方体の体積の計算による求め方について理解している。

●百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることができる。



○分数の意味や表し方を理解し、既習のいくつかの方法を用いて、分数の大小を比べることができるようにする学習活動の充実。

○四捨五入の意味や表し方を理解し、目的にあった概数を求めたり、その概数の利用を実感したりする学習活動の充実。

○図形を構成する要素に着目し、立方体や直方体の体積が、縦、横、高さの長さを使って計算で求められることができるようにする学習活動の充実。

○基準量や比較量を的確に把握し、問題場面から、基準量、比較量、割合の関係を捉えることができるようにする学習活動の充実。

肯定的な回答の多いもの

- ・「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」の合計が90%以上
- ・全国との差が顕著なもの

肯定的な回答の少ないもの

- ・「どちらかといえば、当てはまらない」、「当てはまらない」の合計が30%以上

□基本的な生活習慣等

- ・朝食を毎日食べている。
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている。

□挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等

- ・自分には、よいところがあると思う。
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれると思う。
- ・人が困っているときは、進んで助けている。
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ・学校に行くのは楽しいと思う。
- ・友達関係に満足している。
- ・普通の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。(よくある。ときどきある。)

□ICTを活用した学習状況

- ・あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文書を作成することができると思う。
- ・あなたは自分がインターネットを使って情報を収集することができると思う。

□主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる。
- ・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。

□学習に対する興味・関心や授業の理解度等

- ・国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- ・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- ・5年生までに受けた授業では、算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できている。
- ・5年生までに受けた授業では、図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思う。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学習やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。

■挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等

- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。

■学習習慣、学習環境等

- ・新聞を週に1回以上読んでいる。

■主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

- ・5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している。

■学習に対する興味・関心や授業の理解度等

- ・国語の勉強が得意である。
- ・国語の勉強が好き。
- ・算数の勉強が得意である。
- ・算数の勉強が好き。
- ・5年生までに受けた授業では、算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていた。
- ・将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい。
- ・これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会があった。

北野の子の健やかな成長を願って

- 課題探究的な学習を推進し、子どもたちの疑問や課題を主体的に解決する学習の構成に取り組むとともに、子どもたちの「～したい」という意思を尊重し、子どもたち自身の行動を支え、自分たちで問題を解決する自治的な活動の推進に取り組み、「学ぶ力」の育成を図ります。
- 子ども一人一人がICTの特性・強みを理解し、必要感をもって効果的に活用する学習の充実を図るとともに、本や新聞などへの興味・関心をより高め、子ども自身が主体的に学ぶ学習環境の整備に取り組んでいきます。
- 相互承認の感度を高めるために、学校におけるすべての教育活動を通して多様な他者と対話し、合意形成を図る活動を一層充実させます。自分のよさや他者のよさ、可能性を認め合い、自己肯定感や自己有用感の向上に取り組めます。
- いじめやトラブルには、担任だけではなく学校組織として早期対応することで、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりを推進していきます。
- 「基本的な生活習慣、学習習慣」について、6年間の継続した指導を進めるとともに、家庭・地域との連携をしながら、よりよい習慣づくりを推進していきます。